



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 大

上場会社名 田淵電機株式会社

コード番号 6624 URL <http://www.zbr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 貝方士 利浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部統括

(氏名) 佐々野 雅雄

TEL 06-4807-3500

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,490	△5.2	305	△9.3	147	△6.2	△168	—
24年3月期第2四半期	14,234	△8.1	336	—	157	—	20	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △275百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △192百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	△4.16	—
24年3月期第2四半期	0.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,946	1,230	7.1
24年3月期	13,611	1,517	10.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,136百万円 24年3月期 1,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	32,000	20.3	1,000	107.9	700	229.7	400	—	9.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	40,502,649 株	24年3月期	40,502,649 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	69,475 株	24年3月期	68,020 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	40,434,062 株	24年3月期2Q	38,134,029 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
4. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9
(6) セグメント情報等.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位:百万円)	当第1四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間	上期累計
売上高	5,893	7,597	13,490
営業利益	△222	527	305
経常利益	△290	437	147
四半期純利益	△329	161	△168

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要など内需主導の支えはあったものの、為替相場の円高定着、株価の低迷、個人消費の伸び悩み等から引き続き軟調に推移しました。また、世界経済においても、欧州金融不安等を背景とした先進国の景気停滞が新興国の減速をもたらすなど、先行きの不透明感が一層高まりました。

このような経営環境の下、当社グループでは、2年目を迎えた中期経営計画「MBP15」に基づき、2012年7月からの再生可能エネルギーの固定価格買取制度の開始に伴い、一段と高まる「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」ニーズに応えられるよう環境・エネルギー分野へのリソースの重点シフトに継続して取り組んでいます。具体的には、蓄電池対応ハイブリッドパワーコンディショナ等の商品ラインアップ拡充と共に、環境試験・実証実験などを強化し、品質保証体制の充実も図っています。また、LED照明用電源、産業・医療用電源の開発等、当社の独自技術による高付加価値商品の創出を図りました。

さらに、円高の環境下において、中国合弁会社の生産開始など海外生産の拡大や地産地消を推進して原価力の強化に取り組み、当社グループを挙げて収益の改善に努めました。

その結果、当第2四半期連結会計期間の業績は、当第1四半期連結会計期間から大きく改善しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高はパワーコンディショナが伸長しましたが、薄型テレビ用電源やエアコン用リアクタの減少等により、13,490百万円（前年同期比5.2%減）となりました。損益につきましては、売上の減少に加え、パワーコンディショナの商品ラインアップ拡充に伴う開発費など先行費用の負担もあり、営業利益は305百万円（前年同期比9.3%減）、経常利益は147百万円（前年同期比6.2%減）、投資有価証券の減損処理による特別損失の計上等により、四半期純損失は168百万円（前年同期は四半期純利益20百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントごとの業績は次のとおりであります。

①変成器事業

変成器事業は、エアコン用リアクタの減少等により、売上高は4,119百万円（前年同期比15.6%減）、営業利益は278百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

②電源機器事業

電源機器事業は、薄型テレビ用電源が減少しましたが、パワーコンディショナが伸長し、売上高は9,371百万円（前年同期比0.2%増）となりました。損益面では、パワーコンディショナの商品ラインアップ拡充に伴う開発費など先行費用の負担もあり、営業利益は26百万円（前年同期比55.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は15,946百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,334百万円増加しました。これは主として、有形固定資産が866百万円、受取手形及び売掛金が850百万円、たな卸資産が656百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は14,715百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,621百万円増加しました。これは主として、支払手形及び買掛金が1,484百万円、有利子負債が978百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は1,230百万円となり、前連結会計年度末に比べて287百万円減少しました。これは主として、利益剰余金が168百万円、為替換算調整勘定が108百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想は、平成24年5月15日公表の業績予想から変更はありません。

・連結業績予想（通期）

売上高	32,000百万円	(前年同期比	120.3%)
営業利益	1,000百万円	(前年同期比	207.9%)
経常利益	700百万円	(前年同期比	329.7%)
当期純利益	400百万円	(前年同期比	—)

為替レートは1ドル80円を前提としております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これに伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成21年3月期におきまして重要な当期純損失を計上しました。前連結会計年度には、東日本大震災に続き、タイ洪水の発生による生産活動の一部停滞などの影響はあったものの、営業利益、経常利益は黒字となりましたが、投資有価証券の減損処理による特別損失の計上等により、当期純利益は損失となりました。また、当第2四半期連結累計期間におきましては、営業利益、経常利益は黒字となりましたが、投資有価証券の減損処理による特別損失の計上等により、四半期純利益は損失となりました。

引き続き厳しい経営環境が見込まれる中、当社グループでは、当該重要事象を解消するため、中期経営計画に基づき、電源機器事業については産業・医療用電源等、より高付加価値が見込まれる分野へリソースをシフトしております。加えて、十数年にわたる住宅向け太陽光発電用パワーコンディショナの国内トップメーカーとしての基盤を生かし、昨今注目を集めているクリーンエネルギーを中心としたEMS（エネルギーマネジメントシステム）関連分野へ注力してまいります。

具体的には、「自立型蓄電機能付きパワーコンディショナ」など住宅向けパワーコンディショナや中規模施設向けの中容量パワーコンディショナ等のラインアップの拡充に加え、10kWパワーコンディショナ積層によるメガワット発電システム案件に参入します。また、太陽光・風力・燃料電池・蓄電池等の多種のエネルギー源に対応し、発電から電力変換・蓄電・消費までを総合最適化する高度EMSに取り組んでおります。さらに、アルミニウムリッツ線の接合技術による「ワイヤレス給電システム」等、当社独自技術を駆使した高付加価値商品群の開発に社内資源を集中させ、積極的な市場展開を図っております。

そのために、コスト競争力強化を図るための海外生産展開や生産能力増強に向けた設備投資、及び、研究開発投資などにより事業基盤を強化し、着実に収益体質及び財務体質の改善につなげてまいります。

なお、当下期につきましては、パワーコンディショナの拡販効果等により売上の増加を見込んでおり、損益面では増収効果に加え、高付加価値商品の拡充に伴う利益率の改善を見込んでおります。

当社グループは、上記施策を着実に実行することで、当該重要事象を解消できるものと考えております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,556	1,855
受取手形及び売掛金	3,294	4,145
商品及び製品	1,670	1,970
仕掛品	345	515
原材料及び貯蔵品	1,922	2,108
繰延税金資産	16	18
その他	444	488
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,251	11,103
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,472	1,703
その他(純額)	1,137	1,773
有形固定資産合計	2,610	3,476
無形固定資産		
	160	156
投資その他の資産		
投資有価証券	1,278	999
その他	300	203
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,577	1,202
固定資産合計	4,347	4,835
繰延資産	11	8
資産合計	13,611	15,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,840	6,325
短期借入金	1,793	2,327
1年内返済予定の長期借入金	1,083	1,673
1年内償還予定の社債	260	260
リース債務	208	195
未払法人税等	68	50
賞与引当金	115	193
製品保証引当金	—	22
その他	668	721
流動負債合計	9,038	11,769
固定負債		
社債	280	150
長期借入金	1,770	1,775
リース債務	249	242
退職給付引当金	613	629
その他	141	149
固定負債合計	3,055	2,946
負債合計	12,093	14,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,611	3,611
資本剰余金	416	416
利益剰余金	△1,604	△1,772
自己株式	△12	△12
株主資本合計	2,411	2,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△21
繰延ヘッジ損益	△4	△4
為替換算調整勘定	△971	△1,080
その他の包括利益累計額合計	△977	△1,106
少数株主持分	84	94
純資産合計	1,517	1,230
負債純資産合計	13,611	15,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	14,234	13,490
売上原価	12,798	12,086
売上総利益	1,436	1,404
販売費及び一般管理費	1,099	1,099
営業利益	336	305
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	4	5
持分法による投資利益	10	7
デリバティブ利益	40	25
その他	11	11
営業外収益合計	68	49
営業外費用		
支払利息	85	92
為替差損	105	77
その他	56	38
営業外費用合計	247	207
経常利益	157	147
特別損失		
固定資産除売却損	1	1
投資有価証券評価損	22	218
特別退職金	—	3
退職給付制度移行損失	18	—
特別損失合計	42	222
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	114	△75
法人税、住民税及び事業税	96	65
法人税等調整額	△14	0
法人税等合計	81	66
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	32	△141
少数株主利益	12	26
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20	△168

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	32	△141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	△18
繰延ヘッジ損益	△17	△0
為替換算調整勘定	△87	△65
持分法適用会社に対する持分相当額	△63	△48
その他の包括利益合計	△225	△133
四半期包括利益	△192	△275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△195	△296
少数株主に係る四半期包括利益	2	20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	114	△75
減価償却費	223	284
のれん償却額	6	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	0
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	22
退職給付引当金の増減額(△は減少)	38	19
受取利息及び受取配当金	△6	△5
支払利息	85	92
持分法による投資損益(△は益)	△10	△7
有形固定資産除売却損益(△は益)	1	1
投資有価証券評価損益(△は益)	22	218
売上債権の増減額(△は増加)	456	△947
たな卸資産の増減額(△は増加)	△315	△788
仕入債務の増減額(△は減少)	226	1,610
その他	232	117
小計	1,074	540
利息及び配当金の受取額	6	5
利息の支払額	△85	△92
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△74	△82
営業活動によるキャッシュ・フロー	920	372
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△355	△1,102
有形固定資産の売却による収入	2	0
投資有価証券の取得による支出	△109	—
その他	△13	105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△476	△996
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△662	616
長期借入れによる収入	557	1,300
長期借入金の返済による支出	△565	△701
社債の償還による支出	△130	△130
株式の発行による収入	822	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△94	△111
少数株主への配当金の支払額	△19	△22
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92	950
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	△27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	307	298
現金及び現金同等物の期首残高	1,350	1,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,657	1,855

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	変成器事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,883	9,351	14,234	—	14,234
セグメント間の内部売上高 又は振替高	778	—	778	△778	—
計	5,661	9,351	15,013	△778	14,234
セグメント利益	281	60	341	△5	336

(注) 1. セグメント利益の調整額△5百万円には、のれん償却額△6百万円等が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注1)
	変成器事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,119	9,371	13,490	—	13,490
セグメント間の内部売上高 又は振替高	817	—	817	△817	—
計	4,936	9,371	14,308	△817	13,490
セグメント利益	278	26	305	—	305

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。